

一、次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

『やさしいライオン』が、創作絵本としては珍しく版を重ね好評だったので、出版元のフレーベル館から、2冊目の絵本の注文が来ました。今度はいったい何をテーマにした絵本をつくれればいいのだろう。思い迷い、考えているうちに、はたとアイデアが浮かびました。

この数年前、雑誌『PHP』で連載していた『十二の真珠』という大人向けの短編童話のなかで、『アンパンマン』を書いていたことを思い出したのです。

主人公は、太り過ぎのカッコ悪いおじさん。マントはボロボロだし、ハンサムでもない。見るからにヨレヨレのおじさんは、パンを配り歩きます。空を飛んで戦地に赴き、膨らんだお腹からパンを取り出して、子どもたちにアンパンを渡します。

だけど、このへんてこりんなおじさんは、国境を越えるときに未確認飛行物体と間違われて、結局、撃ち落とされてしまう。そういううちよつと苦い話を「大人向けメルヘン」として書いたわけです。

そしてこの話をもとに、幼児向けの『あんぱんまん』が誕生しました。『アンパンマン』と片仮名になったのは2作めからです。最初の絵本は『あんぱんまん』と平仮名でした。平仮名にしたのは幼児向けの絵本だからで、特別の意味はありませんでした。

アンパンマンが初めて世に出たのは、1973年（昭和48年）のことですから、もう40年近くの歳月が流れたわけで、生みの親ながら、**感**カ**イ**ひとおの思いがあります。

絵本が出版された当初、「どうしてアンパンマンに目をつけられたのですか」と尋ねられました。まず、アンパンというのは非常に簡単な食べ物で、しかも発音がいい。シュークリームというより、アンパンのほうが発音しやしいし、音の響きがいいでしょ。

一、これは日本で発明された食べ物であるということ。そしてアンパンの皮だけで、まず命が助かること。アンコが入ってお菓子の代わりにもなるし、桜の花びらがつけば、塩味もある。とにかく**（A）当座**、生き延びられるんです。僕が子どもの頃は、お菓子といえば、煎餅、アンパン、そしてキヤラメルで、なかでもアンパンがいちばん親しいお菓子でした。それで懐かしさもあって、アンパンをヒーローにしようと思ったわけです。

でも、このアンパン、安くて簡単な食べ物ですが、つくるのはとっても難しいんです。これは**（B）**酵母を使って20時間も寝かせなくてはいけない。生きている菌を使いますから、ちよつと時間を間違えると、全部だめになってしまいます。ですから**（B）周到な準備**をしなくてはいけないのです。

それと僕が「食べることにこだわるのは、命を支えるのは食べ物しかないからです。食べるということに重点を置いたお話をつくりたかった。それがアンパンマンの原点です。

最初の絵本に登場したアンパンマンは、ボロボロのつぎはぎだらけのマントを着ています。なぜかといえ、正義のために戦う人は、多分貧しくて新しいマントは買えないと思ったからです。

この絵本で僕が描きたかったのは、お腹を空かせている子どもに顔を食べさせて、顔がなくなってしまうアンパンマンが、空を飛ぶところです。けれど顔がなくなったアンパンマンは、エネルギーを失って失速する、この部分を一番描きたかったのです。

でも、こんなカッコ悪いヒーローに、子どもたちが拍手をするはずがない。この絵本はきつと売れない。

いだろうと思いました。編集部でも顔をしかめる人ばかり。

「やなせさん、こんな絵本はですね、これつきりにしてください。やなせさんの本質はやっぱり『やさしいライオン』のような絵本ですよ。ああいう本をまた描いてください」そういわれて散々でした。作者の僕自身も自信がなく、初版本のあとがきに、

《さて、こんなあんぱんまんを、子どもたちは好きになってくれるでしょうか。それとも、やはり(C) テレビの人気者のほうがいいでしょうか》

と、心細いことを書いています。『あんぱんまん』は誰にも期待されないで、ひそやかに出発したのです。

1960年代後半から70年代にかけて、ウルトラマンや仮面ライダーといったヒーローものが流行(はや)り、それは大いにウケて、子どもたちのスーパースターとなりました。

これらのヒーローは悪いやつをやっつけるのが仕事。だから、やたらいろんなものが壊れる。それから、絶えず(3)怪獣ジュウを叩きつぶしてしまう。いろんな兵器が出てきてドンパチをやる。それは一種の戦争なんですね。そうすると、子どもの心のなかに「戦争(を)サン美」というものが、どうしても出てきてしまう。社会の事情がよくわからない時代に、そういうものばかり見ていると、戦争はカッコイイものとして潜在意識に残ってしまうのです。

僕には、かなり前から、新しいスーパーマンものを描きたいという気持ちがありました。でも、いろいろ登場したスーパーマンものは、僕には、どうにも(D)胡散臭(くさんくさ)くしてしまうがなかつたわけです。相手をとことん叩きのめして、森や町を破壊して、それで正義が勝ったということで、ハイ、おしまい。(E)それが本当に正義なんだろうかという疑問がありました。

僕らの世代には「これは正義の戦いだ」といつて戦争に突き進みました。アメリカは、この戦争を終わらせるといふ(F)大義(だいぎ)で、原爆を落としました。しかし、戦争には直接加担しない人々が、一瞬のうちに閃光(せんこう)に焼かれて、虫けらのように殺されました。

戦争の場合、戦っている人間は、どちらも相手が悪い、自分が正義だという。しかし、A国の正義とB国の正義は違う。どちらが正義かよくわからないということになります。

(F)、「いつの時代にも飢えて死んでいく人がたくさんいます。いまも、アフリカなどでは内戦が続き、大勢の人たちが難民となって苦しんでいます。本当の正義の味方なら、まず飢えている人を助けるべきでしょう。その後で正しいとか正しくないとか、主義が違うとかいうならまだしも、罪もなく死んでいく人を見捨てて戦っているのはおかしい。」

では、引っくり返らない正義とは何か、って考えたのです。それは、地震で下敷きになった人を助けたり、飢え死にしそうな人に、ひと切れのパンをあげるといふこと。自分の身を犠牲にしても、ひもじい思いをしている人に、食べ物あげることにゃないか。それが、僕が行きついた答えでした。

それで僕は、飢えている人を助けるヒーローをつくろうと思ったのです。初期の『アンパンマン』の絵本には、砂漠で飢えた旅人や、道に迷った子どもに少しずつ顔を食べさせて、ついには顔がすべてなくなってしまうアンパンマンの姿を描きました。

——さあ、僕の顔をかじりなさい。アンパンだから、甘くてとびきりおいしいよ。さあ、はやく！

(G)、「この顔を食べさせる」シーンが、たちまち(H)大人たちからの反感を買い、さ
んさん悪評を頂戴(ごんたい)することになりました。

「顔をちぎって食べさせるなんて、あまりにもひどすぎる。絵本というのは、子どもたちに夢を与えるものでしょ。この作者は、いったい何を考えているのかしら」

幼稚園の先生から、すぐ文句が来ました。出版社からも、

「顔を食べさせるなんて、(一)荒唐無稽だ。もう、二度とあんな本を描かないください」と、ダメ押しをされ、児童書の専門家からは、

「ああいう絵本は、図書館に置くべきではない」とまで言われました。

でも、正義を行ない、人を助けようと思ったなら、本人も傷つくことを覚悟しないといけないのです。自己犠牲の覚悟がないと、正義というのは行えないのです。

アンパンマンはカッコよくないし、パンだから、ちよつと雨に濡れても簡単に弱ってしまいます。いわば、世界最弱のヒーローです。だけでも、彼は空を飛んでいって、ひもじい子どもに自分の顔をちぎって食べさせる。自分を犠牲にして、正義のために戦うわけです。幼稚園の先生から「残酷だ」といわれたときは、これはアンパンマン、彼にとって食べてもらうのはうれしいこと。だってまずいパンだったら食べてもらえないから、と説明したのです。

『アンパンマン』を発表した70年代は、自分さえ助かればいい、自分さえ得すればいいという時代でしたから、自己犠牲をテーマにした話がウケるはずがないと、僕もそう思いました。でも、「真の正義は、自分を犠牲にしないと成し遂げることはできない」、このメッセージだけは、アンパンマンを介して届けたいと思ったのです。

そんなわけで、世界で最弱のヒーロー、アンパンマンは、世間から黙殺され誰も知らない存在でした。けれど、不評だろうとなんだだろうと、僕は少しもメゲませんでした。作者の僕自身がアンパンマンを深く愛していれば、いつか日が当たるときが来るだろう、そう信じていました。

(やなせたかし『絶望の隣は希望です！』小学館 より)

問一、傍線部(あ)く(え)のカタカナの部分と同じ漢字を使うものを、次の1く4のうちから、それぞれ一つ選びなさい。 【解答番号1く4】

- | | | | | |
|------------------|---------------|----------------|----------------|-----------------|
| (あ) 感 <u>ガイ</u> | 1、ガイ念 | 2、憤 <u>ガイ</u> | 3、災 <u>ガイ</u> | 4、繫華 <u>ガイ</u> |
| (い) 酵 <u>ボ</u> | 1、ボ金 | 2、規 <u>ボ</u> | 3、名 <u>ボ</u> | 4、ボ校 |
| (う) 怪 <u>ジュウ</u> | 1、ジュウ医 | 2、ジュウ民 | 3、ジュウ滞 | 4、ジュウ属 |
| (え) サ <u>ン</u> 美 | 1、拡 <u>サン</u> | 2、サ <u>ン</u> 味 | 3、サ <u>ン</u> 成 | 4、海 <u>サン</u> 物 |

問二、空欄Ⅰ、Ⅱ、Ⅲに入ることばとしてもっとも適当なものを、次の1く4から選びなさい。ただし、一つのことばは、一回しか使えないこととする。

Ⅰ…解答番号5、Ⅱ…解答番号6、Ⅲ…解答番号7

1. ところが
2. そのため
3. それに
4. 一方

問三、傍線部（A）「当座」のここでの意味としてもっとも適当なものを、次の1～4から選
びなさい。 【解答番号8】

- 1、待っている間
- 2、座っている間
- 3、一瞬の間
- 4、しばらくの間

問四、傍線部（B）「周到な」のここでの意味としてもっとも適当なものを、次の1～4から
選びなさい。 【解答番号9】

- 1、すべてに行き届いていること
- 2、まじめで正直であること
- 3、礼儀正しいこと
- 4、即座に対応すること

問五、傍線部（C）「テレビの人気者」とあるが、そのようなヒーローを作者が描かないのは
なぜか。その理由としてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。 【解答番号10】

- 1、誰もが強いヒーローになれるわけではないから。
- 2、相手の立場を理解しなくなってしまうから。
- 3、強ければそれが正義であると子どもたちが思ってしまうから。
- 4、子どもたちが戦争への憧れを持ってしまうから。

問六、傍線部（D）「胡散臭くて」のここでの意味としてもっとも適当なものを、次の1～4
から選びなさい。 【解答番号11】

- 1、不真面目でだらしないこと
- 2、何となく疑わしいこと
- 3、燃えたような臭いがすること
- 4、完全な悪であること

問七、傍線部（E）「それが本当に正義なんだろうかという疑問がありました」とあるが、その疑問に対して作者が最終的に出した答えは何か。もつとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号12】

- 1、戦っている者同士の意見の対立を対話で解決することが本当の正義である。
- 2、どちらが正しいかは本当のところはわからず、本当の正義はない。
- 3、他者と争わず戦いをしないのが本当の正義である。
- 4、災害や飢えで困っている人に食べ物を与えて助けるのが本当の正義である。

問八、傍線部（F）「大義」のここでの意味としてもつとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号13】

- 1、たとえ話
- 2、言葉の使い方
- 3、重要な意義
- 4、皆が期待する内容

問九、傍線部（G）「この『顔を食べさせる』シーン」に込めた作者の意図としてもつとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号14】

- 1、自分が傷つくことを恐れては正義を行なうことができない。
- 2、自分の夢を実現しつとも正義を行なうことができる。
- 3、自分の弱さを克服しなければ正義を行なうことができない。
- 4、自分の持っているものを他者に与えなければ正義を行なうことができない。

問十、傍線部（H）「大人たちからの反感を買い、さんざん悪評を頂戴することになりました」とあるが、このような状況になっても、作者があきらめなかったのはなぜか。その理由としてもつとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。

【解答番号15】

- 1、アンパンマンのような世界最弱なヒーローの人気が出る時代が来ると確信していたから。
- 2、食べるのが重要視されアンパンマンが見直されるようになっていたから。
- 3、アンパンマンのことを自分が愛していればいつか見直されると確信していたから。
- 4、アンパンマンの自己犠牲の精神がいつか見直されると確信していたから。

問十一、傍線部(一)「荒唐無稽」の意味としてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。 【解答番号16】

- 1、内容が乏しく、面白味もないこと
- 2、体中が傷だらけであること
- 3、悪いおこないをすれば悪い報いがあること
- 4、根拠がなく現実味がないこと

問十二、アンパンマンが当初受け入れられなかったのはどんな時代であったからか。作者の考えとして最も適当なものを、次の1～4から選びなさい。 【解答番号17】

- 1、戦いに弱いヒーローは受け入れられない時代。
- 2、他人のことより自分の利益だけを追求する時代。
- 3、生活が豊かになり貧困がなくなってきた時代で。
- 4、変身して強くなるヒーローが流行っていた時代。

二、18～22について、正しい読みを1～4から選びなさい。 【解答番号18～22】

- | | | | | | |
|----|----|---------|----------|--------|---------|
| 18 | 頻発 | 1、ぼっぱつ | 2、ほんぱつ | 3、ふんぱつ | 4、ひんぱつ |
| 19 | 膨張 | 1、ふいちよう | 2、ぼうちよう | 3、こちよう | 4、とうちよう |
| 20 | 和む | 1、なぐさむ | 2、なじむ | 3、ゆるむ | 4、なごむ |
| 21 | 成就 | 1、じようじゆ | 2、じようしゆう | 3、せいじゆ | 4、せいしゆう |
| 22 | 絡む | 1、しくむ | 2、からむ | 3、はらむ | 4、いどむ |

三、23～25は動物名を表す漢字を含む四字熟語である。■の中に入る漢字を、それぞれ1～4から選びなさい。ただし、一つの漢字は一回しかつかえないこととする。 【解答番号23～25】

- | | | | | | |
|----|--------|-----|-----|-----|-----|
| 23 | 「■口牛後」 | 1、牛 | 2、猪 | 3、鳥 | 4、鶏 |
| 24 | 「花■風月」 | | | | |
| 25 | 「■飲馬食」 | | | | |

四、26～28のことばの対照的な意味を表す語(対義語)をそれぞれ1～4から選びなさい。

【解答番号26～28】

- | | | | | | |
|----|----|------|------|------|------|
| 26 | 慶事 | 1、弔事 | 2、仏事 | 3、祝事 | 4、法事 |
| 27 | 原則 | 1、本則 | 2、原理 | 3、例外 | 4、理外 |
| 28 | 促進 | 1、抑制 | 2、制裁 | 3、節制 | 4、節約 |